

授 業 目 名	言語聴覚障害診断学I	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	2 年 (前 期)
担 当 教 員 名	上 村 朋 久	単 位 数	1 単 位
		時 間 数	30 時 間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕 言語聴覚障害を抱える人々を援助するには的確な診断が必要である。そのためには情報収集、検査を中心とした評価が欠かせない。本講義では、診断に至る一連の流れを通して、診断についての基本的な考え、情報収集の方法、検査法の選択などとともに解釈の方法について学ぶ。</p> <p>〔到達目標〕 各検査についてマニュアルを見ながら実施できる。 検査と対象疾患について説明できる。</p>		
授 業 回 数	授 業 の 内 容		
第 1 回	検査について		
第 2 回	検査各論		
第 3 回	検査各論		
第 4 回	検査練習(各検査) 概論		
第 5 回	検査練習(各検査) 概論		
第 6 回	検査練習(各検査) 概論		
第 7 回	検査練習(各検査) 概論		
第 8 回	検査練習(各検査) 概論		
第 9 回	検査練習(各検査) 概論		
第 10 回	検査練習(各検査) 概論		
第 11 回	検査練習(各検査) 概論		
第 12 回	検査練習(各検査) 概論		
第 13 回	検査練習(各検査) 概論		
第 14 回	まとめ		
第 15 回	まとめ		
評 価 方 法	期末試験(100%)		
教 科 書 参 考 図 書	適宜資料配布		
履 修 上 の 留 意 点	実技は各グループに分かれて実施します。各検査の数に限りがあるので、グループにより実施する検査が異なります。まずはマニュアルを読んで理解すること。実技での不明点等は積極的に質問すること。みなさんが主体的に取り組むようにしてください。		
メ ッ セ ー ジ	実技は主体的に、受け身にならないように。		